

2026-10-12

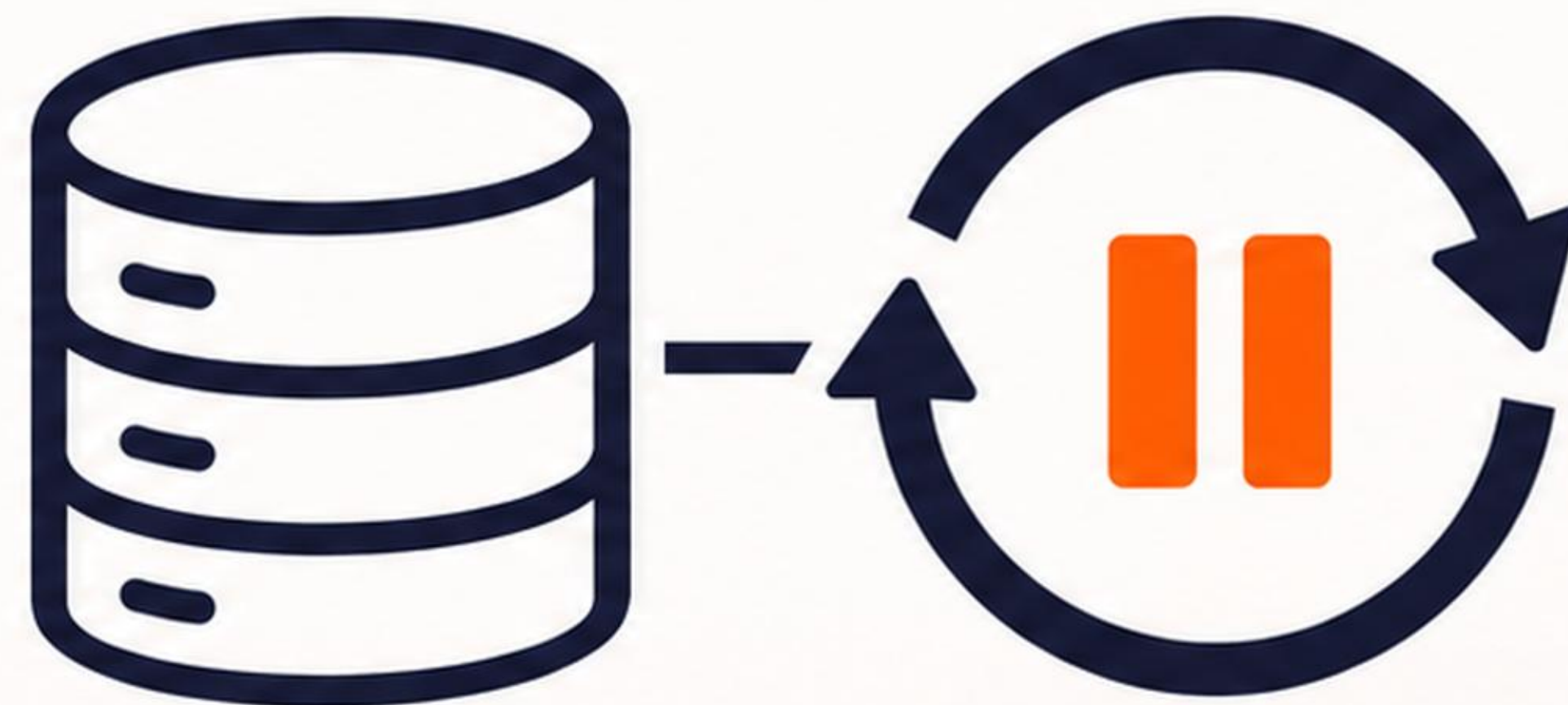
1. Ollama 0.40.3、モデルの裏側の移行を一時停止
2. Claude Code 2.1.296、委任先の会話を早めに圧縮
3. Codex 0.162.1、設定の差による起動失敗を修正

注目3件

Ollama 0.40.3、モデルの裏側の移行を一時停止

Ollama 0.40.3は、ローカルモデルをバックグラウンドで移行する処理を一時停止しました。

- モデルのバックグラウンド移行を一時停止
- 埋め込みなど大量リクエスト時の負荷が理由
- Claude・Codexの起動時の一部警告を削除

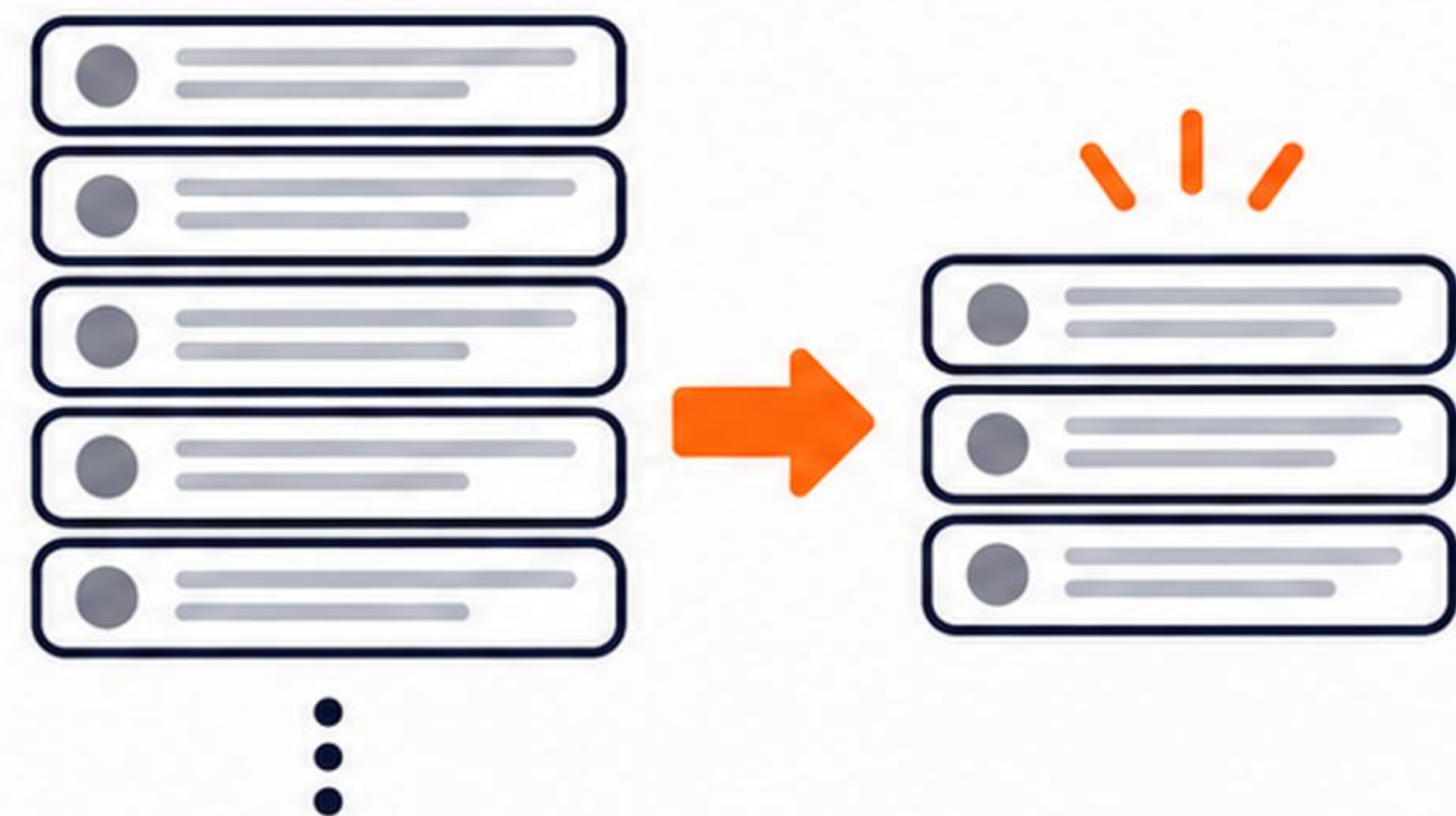


ローカルAIで文書検索を動かしている人は、更新前後で埋め込み処理の時間を比較できます。

Claude Code 2.1.296、 委任先の会話を早めに圧縮

Claude Code 2.1.296で、委任先のサブエージェントが会話を自動圧縮するタイミングを設定できるようになりました。

- autoCompactWindowで委任先の圧縮タイミングを指定
- ワークフロー用エージェントだけモデルを統一可能
- 無人実行で無効なMCPサーバーが起動する不具合を修正

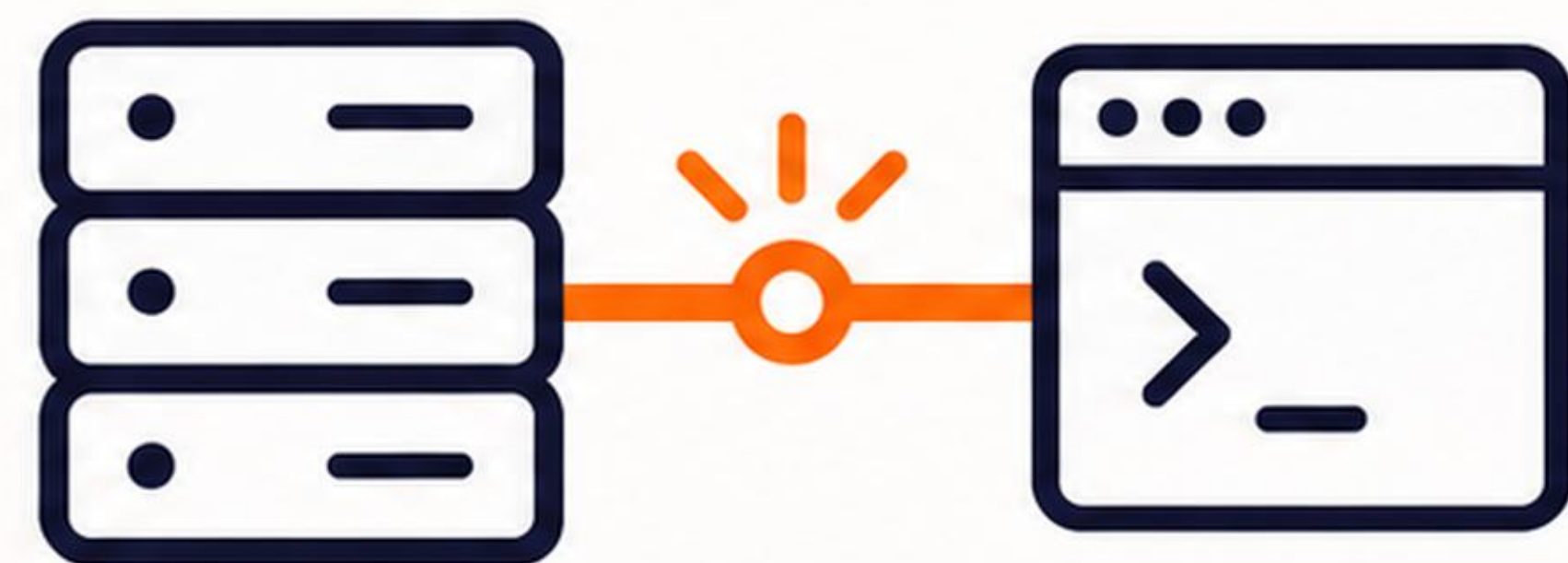


AIへ作業を分担させるとき、会話の長さで使用モデルを担当ごとに調整できます。

Codex 0.162.1、設定の差による起動失敗を修正

Codex 0.162.1は、動いているバックグラウンドサーバーとCLIの機能設定の差で起動に失敗する問題を修正しました。

- サーバーとCLIの既定設定の差による起動失敗を修正
- 互換性確認を明示的なコマンドライン指定に限定
- 複数行の質問で起きる画面のクラッシュを修正

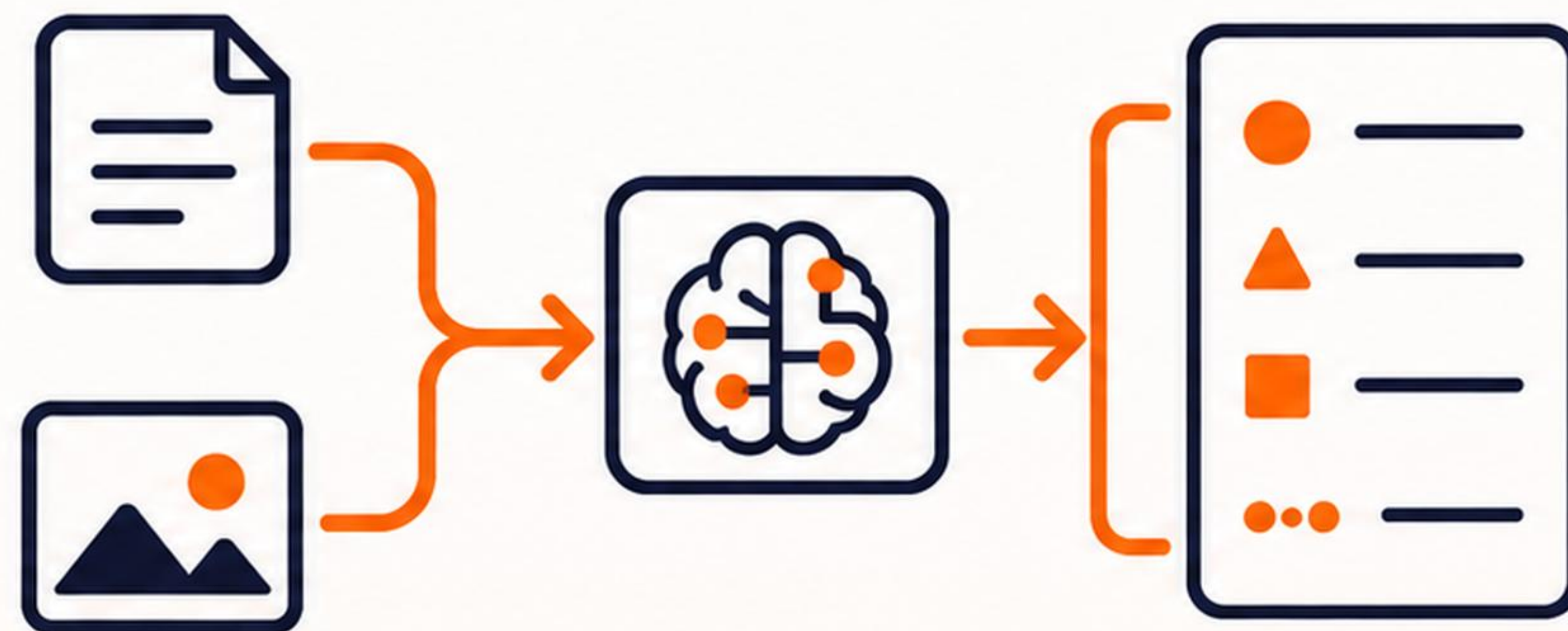


設定を変えていないのにCodexが起動できない場合、該当する修正か確認する材料になります。

Liquid d1、画像の分類もAI Gatewayから

Vercel AI GatewayでLiquid AIの判断モデルd1が利用できるようになりました。

- モデル名liquid/d1で利用
- 文章と画像を使った判断に対応
- 選択肢・真偽・点数を構造化して返す



画像を指定カテゴリーへ分けるなど、答えの候補が決まった処理で試せます。

Gemini CLI試験版、許可済みコマンドの誤検知を修正

Gemini CLIの試験版0.64.0-preview.1に、コマンドの引数や複合ループを誤って警告する問題の修正が取り込まれました。

- 正式版ではなくpreview版の更新
- 読み取り用の引数などの誤検知を修正
- ループ内の各処理が明示的に許可されている場合の判定を改善

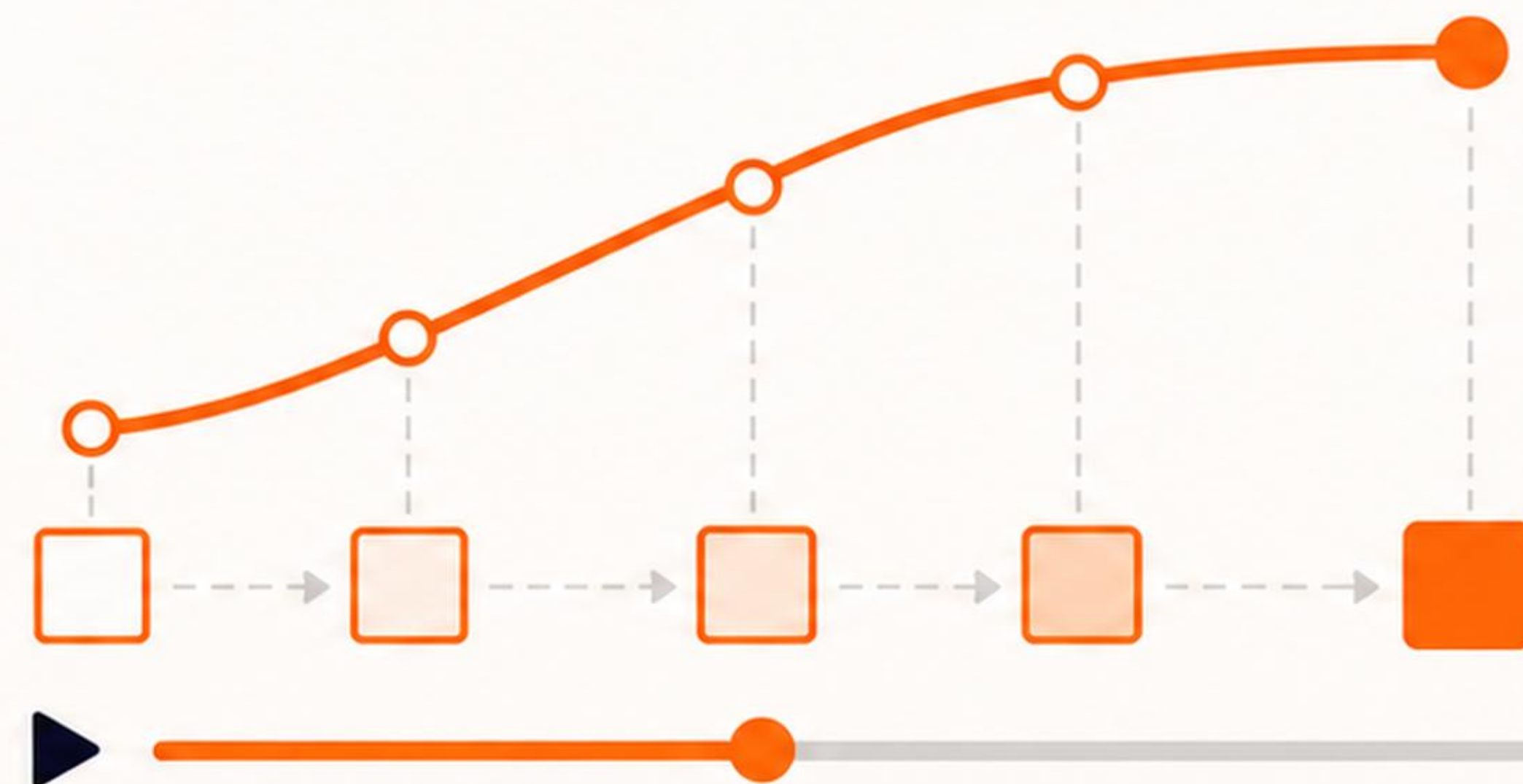


既に許可した確認作業が何度も止まる場合に関する修正です。

〈知見〉動きの見本を使い、AIへの指示を具体化

MOTION MOVEMENT REFERENCEは、動きの名前・速さ・速度変化の曲線を手がかりに見本を探せるサイトです。

- 動きの名前・速さ・用途から見本を探せる
- コマ送りで動きの途中を確認
- 比較画面で時間・振幅・遅延を調整



AIに画面の動きを頼むとき、見本を選んで速さや止まり方を伝え、依頼を具体的にできます。

本日のトピック一覧

1. Ollama 0.40.3、モデルの裏側の移行を一時停止
2. Claude Code 2.1.296、委任先の会話を早めに圧縮
3. Codex 0.162.1、設定の差による起動失敗を修正
4. Liquid d1、画像の分類もAI Gatewayから
5. Gemini CLI試験版、許可済みコマンドの誤検知を修正
6. 〈知見〉動きの見本を使い、AIへの指示を具体化